

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）		
ナンバリングコード	E21201	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2年／前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002419	クラス名	今西ゼミ
担当教員名	今西 衛		
履修上の注意、 履修条件	ゼミでは、どんな小さなことでも構わないので、まちの課題を自分自身でみつけて、ゼミの仲間と一緒に課題を解決する政策を議論してください。学生皆さんの議論が非常に重要です。わからないことは、一人で悩まないでください。また、議論だけだと、主観的になったり、感情的になったりするもので、ものごとを客観的に捉え、論理的に説明できる（相手が納得できる）力を身につけてください。レポートは採点ご返却します。その他備考欄を参照すること		
教科書	みなさんの関心にあわせて適宜、紹介します。		
参考文献及び指定図書	増田寛也「地方消滅-東京一極集中が招く人口急減」、中公新書、2014 デービッド・アトキンソン「イギリス人アナリスト 日本の国宝を守る」、講談社+α新書、2014 他備考欄を参照して下さい。		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目他、詳しくは備考欄を参照すること		

○基本情報		
授業の目的	世の中で起きている社会現象を経験と勤のみでは、正しく理解できなかったり、問題の解決にはつながらないことがあります。 このゼミでは、科学的なデータから客観的に社会現象をとらえることで、政策評価を行う力（データサイエンス）を養ってもらいます。これらからの時代、AIにできない、創造力、マネジメント能力を身につけてもらいます。 社会調査法、フィールド・スタディⅡの内容と連動しながら、地域の課題を発見し、持続可能性（SDGs）について考えます。	
授業の概要	大分都心部をフィールドとして、調査設計から、実査、分析、報告の流れを身につけてもらいます。その他、皆さんの関心に応じて、グループ分けを行い、ディスカッションや、課題抽出、提案へと結びつけます。 そのために必要な知識を身につけてもらいます。まずは、地域に関心を持って下さい。主役は皆さんです。積極的に参加して下さい。地域に関わる主体として、責任感と倫理観を身につけ、自発的に学習します。コース必修科目、フィールド科目を通じ、課題解決を図るリテラシーが身につけます。さらに、適切な表現力やプレゼンテーション能力を習得し、チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力が身につけます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。		20点	20点
【知識・理解】	まちの活性化で必要なこと、マーケティングの知識を身につけてもらいます。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。		10点	10点
【思考・判断・創造】	まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、新しいアイデアを出せるかを身につけてもらいます。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回の講義で課題が課されます。したがって、毎回出席していないと、課題も提出できませんので注意してください。 Sレベル：ゼミの議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Aレベル：ゼミの内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル：課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル：課題解決の提案がない 課題は翌週ゼミの中で議論することでフィードバックします。他の学生の意見を聞いて、課題の内容をブラッシュアップするなどして、学習成果を上げてください。

○その他
履修上の注意 わからないことがあれば、その都度、講義時間内、あるいは研究室、メールなどで積極的に質問してください。小さな疑問から大きな関心につながる場合があります。 参考文献 橋本 行史 編著、(2015)、『地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-』、創生社、ISBN-13: 978-4794431585 デービット・アトキンソン、(2014)、『イギリス人アナリスト 国宝を守る』、講談社+α新書、ISBN-13: 978-4062728706 川原靖弘、斎藤参郎編著(2017)、『ソーシャルシティ』、放送大学教育振興会、ISBN-13:978-4595317187 大正大学地域構想研究所/日本青年会議所「地域再興会議」編著、(2018)、『別冊地域人 地方創生に役立つ!「地域データ分析」の教科書 (地域創生のための総合情報)』、大正大学出版会 ISBN-13:978-4924297982 SAS Institute Japan株式会社、(2019)、『AI実用化のための実践ガイド～SAS Viyaではじめるアナリティクス・ライフサイクル入門～』、リックテレコム、ISBN-13:978-4865941821 Saburo Saito、Kosuke Yamashiro eds.、(2019)、Advances in Kaiyu Studies: From Shop-Around Movements Through Behavioral Marketing to Town Equity Research (New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives)、Springer、ISBN-13: 978-9811317385 倉田博史、(2017)、『大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる』、KADOKAWA、ISB-13: 978-4046020000 参考書 社会科学系論文の書き方、明石芳彦、ミネルヴァ書房、978-4623083794 関連科目 地域マネジメントコース必修科目：社会調査法、まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、演習科目：フィールド・スタディⅠA、ⅠB、Ⅱ、Ⅲ、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査 講義科目：地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、統計解析B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語 授業計画 講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。 原則対面で行いますが、感染状況等を踏まえ、講義形態を変えることがあります。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 今西 衛	授業コード	E002419
学修内容				
1. 大分都心部の人の動き1 大分都心部の現状について解説し、議論します				
予習	大分都心部でどのような動きがあったのか調べて下さい。			約2時間
復習	議論をまとめて下さい。			約2時間
2. 大分都心部の人の動き2 前回の振り返り、大分都心部の課題を抽出します。				
予習	議論を踏まえ、事前に大分都心部の問題点を探して下さい。			約2時間
復習	課題を解決するにはどうしたらよいか考えて下さい。			約2時間
3. 大分駅ビル開業による開業効果は？ 2015年に大分駅ビル開業が開業しました。その効果を考えてください。				
予習	新聞等で、大分駅ビルに関する記事を集めて下さい			約2時間
復習	開業効果はどの程度あったのか、考えてみて下さい。			約2時間
4. 大分駅ビル開業によるまちの課題は？ 逆に、大分駅ビルができたことによって、商店街はどのような課題を抱えるようになったのか、考えてください。				
予習	現状の商店街はどのようになっているのか調べて下さい。			約2時間
復習	ディスカッションの内容を踏まえ、商店街をどうしたらよいか考えてみ下さい。			約2時間
5. ディスカッション 1ー4週の内容を踏まえ、いくつかの側面から、大分駅ビル開業に関する効果と課題を皆さんで議論します				
予習	積極的に参加できるよう、ディスカッションの準備をして下さい。			約2時間
復習	ディスカッションの内容をノートにまとめ、今後の活動に活かせるようにして下さい。			約2時間
6. そのほかに効果や課題は？ ここで書いてしまうと、答えを言うってしまうので、皆さんで、そのほかにどのような効果や課題があるのか、考えてください。				
予習	みなさんなりに、まちの課題や政策の効果について考えておいて下さい。			約2時間
復習	まちの課題や政策効果について議論したことをノートにまとめてください。			約2時間
7. レポートの作成1 以上の議論を踏まえ、まちづくりに関して、客観的事実に基づいたレポートを作成してもらいます。ここでは、レポート作成上の注意点を説明します。				
予習	社会参画入門の内容を復習しておくこと			約2時間
復習	レポートの第1項を完成させる			約2時間
8. レポートの作成2 先週のレポートを踏まえ、添削し、再度、レポートを作成してもらいます。				
予習	レポートの作成			約2時間
復習	添削した上で、レポートの修正版の作成			約2時間

○授業計画	科 目 名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）	授業コード	E002419
	担当教員	今西 衛		
学修内容				
9. スライドの作成				
完成したレポートに合わせてどのように、スライドを作成するのか説明します。				
予習	スライド作成のポイントを予習しておいてください。			約2時間
復習	スライドの内容で指摘した点を修正してください。			約2時間
10. プレゼンテーション1				
いくつかのグループに分かれて、発表してもらい、みなさんで評価しあいます。				
予習	社会参画入門の内容を復習しておくこと			約2時間
復習	プレゼンテーションを完成させる			約2時間
11. プレゼンテーション2				
前回の評価に基づいて、プレゼンテーションを行います。				
予習	社会参画入門の内容を復習しておくこと			約2時間
復習	プレゼンテーションを完成させる			約2時間
12. データの収集				
物事を客観的に捉えるためには、データを集める必要があります。必要であれば、まちに出てデータを集めてきます。				
予習	行政が公開しているデータを探してみましょう			約2時間
復習	補足するデータを集めてきてください			約2時間
13. データの分析1				
集めてきたデータをどのように分析すべきかを簡単に説明します。ここではSASを使います。				
予習	社会調査法の講義の内容を復習しておいて下さい			約2時間
復習	データ分析が1人でできるか、確認してください。			約2時間
14. データの分析2				
集めてきたデータをどのように分析すべきかを簡単に説明します。SASのプログラミングを行います。				
予習	社会調査法の講義の内容を復習しておいて下さい			約2時間
復習	データ分析が1人でできるか、確認してください。			約2時間
15. 他の受講生のテーマと共有しよう				
他の学生がどのような地域に関心があるのか情報共有し、議論します。				
予習	ディスカッションできるよう、ノートにまとめるなど事前準備をしておきましょう			約2時間
復習	議論の内容をノートにまとめておきましょう			約2時間
16.				
定期試験なし				
予習				
復習				